

## 鎌倉市図書館ビジョン（案）

鎌倉市図書館では、平成 31 年度から 4 年間の「第 3 次鎌倉市図書館サービス計画」の策定に先立ち、鎌倉市図書館の目指すべき姿を明確にすることが大切であると考え、鎌倉市図書館ビジョンを定めました。

～基本方針～

「つながる ひろがる 100 年図書館」



## 1 つながる図書館～いつでもだれでもどこでも！

知りたい情報、求める資料（本・雑誌・AV 資料など）と市民をつなぎ、現在と過去、未来をつなぎます。全国の図書館、各種教育機関、文化施設、福祉施設等とつながり、幅広い図書館サービスを提供します。年代も立場もさまざまな人々に、必要とされている資料や情報を届けます。

◆使いたいときにあいている！

利用しやすい開館時間を設定します。

◆好きな時に好きな場所で本が読める！受け取れる！

資料のデジタル化や宅配サービスなど、サービス網を広げます。

◆各種教育機関と連携して、子どもたちの読書を応援！

学校図書館等との連携をすすめます。

◆図書館を利用しにくい人にも読書を！

障害のある人もない人も使いやすく。

施設のユニバーサルデザイン化をすすめます。



◆誰でも読みやすい、わかりやすい資料を！

それぞれの人にあった、多種多様な資料をそろえます。



## 2 ひろがる図書館～図書館は世界に通ず！

市民参画・協働の図書館として、市民とともに図書館サービスをひろげていきます。図書館での活動を通し、必要な情報を発信し、さまざまな世代が交流できる場となるよう取り組みます。親しみやすく、多くの人が気軽に集うことができる、市民の居場所を目指します。

◆図書館から皆さんへ、広く情報を発信します！

楽しいイベント、役立つ講座、知ってて便利な情報を届けます。

◆図書館から始まるみんなの輪！

さまざまな世代が集まり、出会い、なにかが生まれる！そんな場所を目指しま

す。

◆みんなの居場所！図書館の顔はひとつじゃない！

にぎわいも、静寂も、くつろぎも。いっしょに楽しむ親子も、集中したい学生も、たまにはのんびりしたい大人も。ゾーンを分けてみんな快適にすごせる施設をつくります。



### 3 100 年図書館～過去から現在、未来まで

全国的にも貴重な鎌倉の歴史的遺産と文化を後世に伝えます。これまでの歩みを大切に、地域資料を通して歴史ある鎌倉の魅力を発信し、100 年先の未来にも誇れる図書館を目指します。

◆人生 100 年！100 年いっしょ！

生まれたばかりの赤ちゃんから、すべてのライフステージで。  
どんな時も力になる図書館になります。



◆地域のことは地域の図書館に

地域の情報は、いにしえから未来まで。郷土学習を応援します。

◆鎌倉のすべてがここにある。鎌倉のすべてを 100 年先まで伝える

まちの情報拠点になり、まちの記憶の保存庫になります。



◆100 年の土台をしっかりと

図書館サービスを充実させていくために、図書館を支える司書の育成に取り組みます。



## ★ 鎌倉市図書館の使命

- 1 多種多様な情報を収集、整理、保存、提供して、市民の知る権利を守り、「いつでも、誰でも、どこでも」望む情報を得ることができる環境を保障します。
- 2 鎌倉市は、古代から現代までと、独自で多彩な歴史を有しますが、その歴史と文化を、責任を持って後世まで保存・継承します。
- 3 鎌倉市図書館は、市民とともに創りあげてきた図書館であり、これからも鎌倉の5地域に一館ずつ計5つの図書館を「いちばんそばの情報センター」として充実させ、鎌倉市図書館ネットワーク全体で、市民の暮らしと学びを応援し、人々の知りたい気持ちに寄り添い応える組織であり続けます。
- 4 利用者の秘密を守ります。

鎌倉市図書館は、鎌倉に住まい、鎌倉に生き、鎌倉を愛する人のための図書館です。市民の「知る自由」を保障し、誰も取りこぼさない知的セーフティーネットでなければなりません。

市は責任を持って持続可能な図書館経営を行っていく必要があります。

職員は、市民から何を望まれているのかを常に立ち返って考え、市民の声に応え、協働して歩む姿勢を忘れてはなりません。

蓄積された過去を知り、移り変わる現在を学び、未来に思いをはせるための場所。

図書館にしかできないことを見失わず、100年先まで鎌倉に生きる人たちの力になる場所。

それが鎌倉市図書館のあるべき姿です。



鎌倉市図書館ホームページ <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/>